



あなたの声を「カタチ」に 走る記者魂！



署名の協力を呼びかけるかじき議員（右）ら

かじき府議・杉田市議が 大阪府知事・市長に署名を提出

1月19日、大阪府知事に「がん対策の継続・強化充実」と「教育水準ナンバーワンの大阪構築」を求める署名、同18日に大阪市長に「子育て支援・女性の健康、高齢者の安心・安全」を求める署名を提出しました。知事は「公明党の協力を得て、日本一のがん対策を進めたい」と回答。又、大阪市は早速2月1日より子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの全額助成が実施されます。



平松市長に署名を提出する杉田議員（左）ら

♡ 子宮頸がん予防・ヒブ・小児用肺炎球菌の3ワクチンの全額公費助成・無料化！（専用電話：06-6208-8249）

- 子宮頸がんワクチンは中学1年生～高校1年生の女子
- ヒブワクチンと小児用肺炎球菌ワクチンは0～4歳の乳幼児

♡ 子宮頸がん・乳がん健診の無料クーポンの配布の継続！

- 子宮頸がん…20歳、25歳、30歳、35歳、40歳
- 乳がん…40歳、45歳、50歳、55歳、60歳になる女性（年齢は23年度、今年6月30日現在大阪市に在住の方）

♡ 乳幼児医療費助成制度を拡大！

- 入院の医療費助成を、現行小学校卒業までから中学校卒業までに拡大。さらに0～2歳の所得制限を撤廃（今秋実施予定）

平成22年10月の大阪府議会本会議・一般質問で「鳥の目、虫の目の二つの目で政治に取り組む」ことを訴えた加治木一彦府議会議員の議事録を紹介します。



「最後に、皆様も、鳥の目、虫の目という言葉をお聞きになったことがあると思います。鳥の目は、高いところから物事を大きくとらえるという見方、虫の目というのは、まさに地べたをはう虫、目の前の一つ一つの細かいことにしっかりと目を向ける。私、政治家として、議員として、三年半やってまいりましたが、常にその鳥の目、虫の目という物の見方、考え方を心がけてまいりました。本日ここにいらっしゃいます皆様方も、きっと同じ思いだと思います。これからも、その鳥の目、虫の目というその二つの目でしっかりと物事を見て、判断して行動できる、そのようにまた取り組んでまいりたいと思います。以上で、私の質問を終わります。御清聴ありがとうございました。（議事録抜粋）



府議会本会議で一般質問をする加治木府議

「鳥の目、虫の目」の政治を訴え！
かじき府議会議員が